

カーター大統領文書I 日米関係		
第48期	カーター大統領海外首脳書簡ほか	(全10巻) 純2900頁・掲定価330,000円(税込)
	カーター大統領文書II 米中関係	
第49期	カーター大統領海外首脳書簡ほか	(全10巻) 純2584頁・掲定価330,000円(税込)
第50期	カーター大統領米中関係文書 1979-80	(全10巻) 純2816頁・掲定価385,000円(税込)
	カーター大統領文書III 米韓関係	
第51期	カーター大統領米中関係文書 海外首脳書簡ほか	(全10巻) 掲定価385,000円(税込) 2022年11月刊行予定
アメリカ合衆国対日政策文書集成 フォード政権期文書		
フォード大統領文書I 日米関係		
第38期	田中角栄・フォード首脳会談関係文書ほか	(全10巻) 純2956頁・掲定価330,000円(税込)
第39期	国家安全保障会議機関文書・日本関係ほか	(全10巻) 純2260頁・掲定価330,000円(税込)
第40期	国家安全保障会議 東アジア・太平洋地域担当日本関係文書ほか	(全10巻) 純2554頁・掲定価330,000円(税込)
	フォード大統領文書II 米中関係	
第41期	フォード、キッシンジャー訪中関係文書ほか	(全10巻) 純2292頁・掲定価330,000円(税込)
第42期	首脳・要人会議録、国家安全保障会議機関文書ほか	(全10巻) 純2990頁・掲定価330,000円(税込)
第43期	国家安全保障会議 東アジア・太平洋地域担当日本関係文書ほか	(全10巻) 純3152頁・掲定価330,000円(税込)
	フォード大統領文書III 米韓関係	
第44期	首脳・要人会議録、国家安全保障会議機関文書ほか	(全10巻) 純2936頁・掲定価330,000円(税込)
	フォード大統領文書IV 主要国首脳会議（サミット）	
第45期	第1回ランブレイ・サミット関係文書	(全10巻) 純2114頁・掲定価330,000円(税込)
第46期	第2回ペルトリコ・サミット関係文書	(全10巻) 純2134頁・掲定価330,000円(税込)
アメリカ合衆国対日政策文書集成 ニクソン政権期 新規公開文書		
第47期	ニクソン大統領図書館新規公開文書 付・フォード大統領図書館未収録文書	(全10巻) 純2200頁・掲定価330,000円(税込)
アメリカ合衆国対日政策文書集成 ニクソン政権期文書（全18期完結）		
ニクソン大統領文書I 日米関係		
第20期	佐藤榮作・ニクソン首脳会談関係文書ほか	(全10巻) 純2184頁・掲定価330,000円(税込)
第21期	佐藤政権期日本・沖縄関係ホワイトハウス文書	(全10巻) 純3152頁・掲定価330,000円(税込)
第22期	継続問題・航空交渉関係ホワイトハウス文書	(全10巻) 純2560頁・掲定価330,000円(税込)
第23期	ピーターソン大統領補佐官継続関係文書	(全10巻) 純2554頁・掲定価330,000円(税込)
第24期	キッシンジャー関係文書ほか	(全10巻) 純3454頁・掲定価330,000円(税込)
第25期	田中角栄・ニクソン首脳会談関係文書 田中角栄政権期ホワイトハウス文書・天皇・ニクソン会談関係文書	(全10巻) 純4310頁・掲定価330,000円(税込)
	ニクソン大統領文書II 米中和解	
第26期	国家安全保障会議文書 1971年7月まで	(全10巻) 純2630頁・掲定価330,000円(税込)
第27期	国家安全保障会議文書 1971年10月まで	(全10巻) 純2576頁・掲定価330,000円(税込)
第28期	国家安全保障会議文書 1972年3月まで	(全10巻) 純3202頁・掲定価330,000円(税込)
第29期	キッシンジャー・オフィス文書 1972年3月まで	(全10巻) 純3110頁・掲定価330,000円(税込)
第30期	国家安全保障会議文書 1972年3月~12月	(全10巻) 純3306頁・掲定価330,000円(税込)
第31期	キッシンジャー・オフィス文書 1972年3月~12月 国家安全保障会議文書 1973年1月以降 キッシンジャー・オフィス文書 1973年1月以降	(全10巻) 純3424頁・掲定価330,000円(税込) ※記述回数は増減する場合があります
	ニクソン大統領文書III 国家安全保障会議機関文書 (NSSM, NSDM)	
第32期	国家安全保障会議機関文書 日本・アジア関係	(全10巻) 純2900頁・掲定価330,000円(税込)
第33期	国家安全保障会議機関文書 中国関係	(全10巻) 純2626頁・掲定価330,000円(税込)
第34期	国家安全保障会議機関文書 韓国関係	(全10巻) 純2868頁・掲定価330,000円(税込)
第35期	国家安全保障会議機関文書 国防、核、石油危機	(全10巻) 純3090頁・掲定価330,000円(税込)
第36期	国家安全保障会議機関文書 年次外交報告・東西貿易・COCOM	(全10巻) 純3204頁・掲定価330,000円(税込)
	國務省文書・ニクソン大統領図書館新規公開文書	
第37期	日米外交防衛問題 1973年 ニクソン大統領図書館新規公開文書	(全10巻) 純3242頁・掲定価330,000円(税込)
アメリカ合衆国対日政策文書集成 沖縄返還期（全12期完結）		
第8期	日米外交防衛問題 1964年 付・極東担当国務官補及び東アジア課主要文書「ウィリアム・パンディ国務次官補訪日関連文書 1964年9月27日-10月1日」	(全10巻) 純3236頁・掲定価242,000円(税込)
第9期	日米外交防衛問題 1965年 付・1965年1月佐藤榮作首相訪米会議録	(全9巻) 純3016頁・掲定価242,000円(税込)
第10期	日米外交防衛問題 1966年 付・米国務長官訪日会議録	(全9巻) 純2704頁・掲定価242,000円(税込)
第11期	日米外交防衛問題 1967年	(全11巻) 純3902頁・掲定価275,000円(税込)
第12期	日米外交防衛問題 1968年	(全10巻) 純3632頁・掲定価275,000円(税込)
第13期	日米外交防衛問題 1969年・日本編 付・米国務長官訪日会議録	(全10巻) 純3244頁・掲定価275,000円(税込)
第14期	日米外交防衛問題 1969年・沖縄編	(全10巻) 純2968頁・掲定価275,000円(税込)
第15期	日米外交防衛問題 1970年 付・米国務長官訪日会議録	(全10巻) 純3684頁・掲定価275,000円(税込)
第16期	日米外交防衛問題 1971年・日本編 付・米国務長官訪日会議録	(全10巻) 純2840頁・掲定価275,000円(税込)
第17期	日米外交防衛問題 1971年・沖縄編	(全10巻) 純3196頁・掲定価275,000円(税込)
第18期	日米外交防衛問題 1972年・日本・政治・外交編	(全10巻) 純2914頁・掲定価275,000円(税込)
第19期	日米外交防衛問題 1972年・日本・防衛問題および沖縄編 補遺・尖閣諸島関連文書およびトップシーケレット文書	(全10巻) 純2650頁・掲定価275,000円(税込)
	【以上、全12期全119巻の掲定価合計は3,201,000円(税込)となります】	
アメリカ合衆国対日政策文書集成 安保改定期（全7期完結）		
第1期	日米外交防衛問題 1959-60年	(全9巻) 純3548頁・掲定価209,000円(税込)
第2期	日米経済問題 1959-60年	(全11巻) 純4604頁・掲定価275,000円(税込)
第3期	日本の国内事情 1960年	(全9巻) 純3392頁・掲定価231,000円(税込)
第4期	日米外交防衛問題 1957年	(全10巻) 純3392頁・掲定価242,000円(税込)
第5期	日米外交防衛問題 1958年 補遺・1960年佐藤信介首相訪米会議録ほか	(全8巻) 純3020頁・掲定価231,000円(税込)
第6期	日米外交防衛問題 1955年	(全9巻) 純2940頁・掲定価242,000円(税込)
第7期	日米外交防衛問題 1956年 補遺・国家安全保障会議 (NSC) 公式政策文書	(全10巻) 純3664頁・掲定価242,000円(税込)
	【以上、全7期全66巻の掲定価合計は1,672,000円(税込)となります】	
アメリカ合衆国対日政策文書集成 アメリカ総合参謀本部（全2期完結）		
	アメリカ合衆国対日政策文書集成 アメリカ総合参謀本部資料 1948-1953年	(全16巻) 純5108頁・掲定価528,000円(税込)
	アメリカ合衆国対日政策文書集成 アメリカ総合参謀本部資料 1953-1961年	(全15巻) 純4640頁・掲定価495,000円(税込)

## アメリカ合衆国対日政策文書集成（第50期）

## カーター大統領文書

## 米中関係 ②国交正常化以降

## ブレジンスキー大統領補佐官文書

大統領と海外指導者の通信文書 (NSA 3)

国別文書 (NSA 6)

主題別文書 (NSA 7)

オフィス文書 (NSA 15)

## ブレジンスキー・コレクション

ブレジンスキー地域文書

ブレジンスキー主題別文書

(全10巻)

Carter Presidential Materials

監修：石井修

米中国交樹立の残された課題——米ソの関係は?  
中国や台湾への武器供与はどうする?

1979年1月1日、米中は国交を樹立した。発表も当初この日に行なう予定だったが、リークを惧れて前年12月15日に早められた。突然の発表は世界を動搖させた。同盟国かどうかを問わず、各国に事前に通告する“外交儀礼”的問題があつた。

イギリス、フランス、西ドイツの各首脳へは電報で伝えられたが、大平総理には電話で伝えられたことが今期集成から見てとれる。

台湾は関係断絶となる。どのように通告すればいいのか大きな問題だった。ブレジンスキーは台湾側に与える時間的余裕として「1時間」と「12時間」という2つの極端なオプションを大統領に提示し、「12時間」を選ぶよう、また台湾への防禦的武器供与の復活を進言した。

議会は、共和党を中心に猛反発した。カーターの行為は違憲であると裁判にまで持ち込まれた。

今期集成からは、国交樹立をめぐるさまざまな騒動が見てとれる。

## お譲り先

国際関係論 政治学・政治史 アメリカ現代史

中国現代史 アジア現代史 戦後経済史

戦後外交史 日米関係 日本現代史

大学図書館 公共図書館

◎監修

石井 修（一橋大学名誉教授）

◎造本体裁

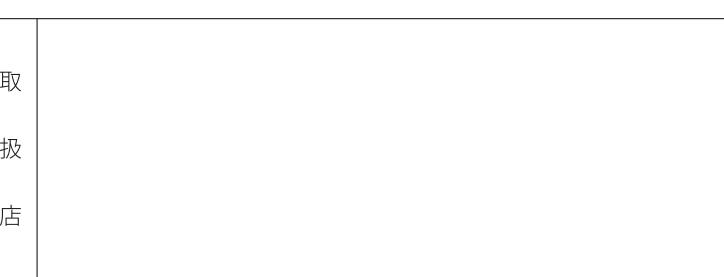
A4判・上製函入

全10巻・総2816頁

◎掲定価

385,000円(税込)

ISBN978-4-7601-5448-7 C3331



柏書房

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-15-13

Tel.03-3830-1891 Fax.03-3830-5337

URL http://www.kashiwashobo.co.jp

E-mail eigyo@kashiwashobo.co.jp

# 中国から武器ばかりか機密情報まで求められる米国

ab B	Impressions on Our China Policy to Date/Oksenberg	August 23, 1978
Tab C	President's Meeting with Ambassador Ch'ai	September 19, 1978
Tab D	Brzezinski Meeting with Ambassador Ch'ai	December 11, 1978
Tab E	Message from President Carter to Brezhnev	December 14, 1978
Tab F	Messages from President Carter to Callaghan, Giscard and Schmidt	December 15, 1978
Tab G	President's Telephone Conversation with Ohira	December 15, 1978
Tab H	Notification of Chiang Ching-Kuo (and cables)	December 15, 1978
<b>「特別待遇」の日本</b>		
米中国交樹立は、日本の大平正芳総理にはカーターが電話で口頭で伝えていた。中国が日本にとって大きな存在であったことを理解していたと思われる。		
【第9巻149頁】		
Tab K	The Road to Normalization/ Oksenberg	undated

MEMORANDUM

THE WHITE HOUSE  
WASHINGTON

~~TOP SECRET/SENSITIVE/EYES ONLY/ALPHA~~

December 14, 1978

ACTION

MEMORANDUM FOR: THE PRESIDENT

FROM: ZBIGNIEW BRZEZINSKI

SUBJECT: Taiwan Notification (TS)

We face several issues requiring your attention:

I. Timing of notification of Chiang Ching-kuo

Your 9:00 p.m., Friday, December 15, anno  
come at 10:00 a.m., Saturday, December 16, in T  
two choices: (a) to inform him Friday (12 hour  
that Ambassador Unger wishes to see him Saturd  
(b) to notify him Friday evening Taipei time.

The twelve-hour lead time would mean Uncle  
Chiang Ching-kuo at 9:00 p.m., Friday night,  
sleep on it but also

台湾への防禦的武器供与が「最大のカード」

ブレジンスキは、台湾への武器供与を1979  
年には中止するが、そのあとまた行なうことが蔣  
経国をなだめる最大のカードになると大統領に  
進言した。

for each:  
【第9巻177頁】 lity of leak.

-- Is an honest and candid recogn  
ally to sugarcoat what is, afte

8  
1978  
1978  
1978  
1978  
5, 1978  
15, 1978

SECRET/EYES ONLY

December 14, 1978

TO: PRESIDENT BREZHNEV  
FROM: PRESIDENT CARTER

I want to inform you that on Friday, December 15, at 9:00 p.m. Washington time, I will announce the normalization of relations between the Government of the United States and the People's Republic of China. This is an historic moment in the relations between the American people and the Chinese people. This step has no other purpose but to promote the cause of world peace. It is a step which I believe has been long overdue and which will redound to the benefit of all nations.

Let me also take this opportunity to express my appreciation for the reception accorded Secretaries Blumenthal

最大のライバル・ソ連にそれなりの気配りをする米国

冷戦における最大のライバルであるソ連には一目置き、発表前日の14日、ブレジネフ書記長にまづ電文で伝えられた。【第9巻172頁】

*J*

SECRET

MEMORANDUM OF TELEPHONE  
PARTICIPANTS: An Zb  
DATE AND TIME: Tu 2:  
Brzezinski: I stepped  
You would be leaving in  
Dobrynin: Right. I am  
message from President t  
send it to you.  
Text of message: I rece  
which you informed of the  
matic relations between t  
People's Republic of Chin  
In this connection, I wan  
lishment of  
ソ連の懸念軽減をはかる Carter  
カーターはさらにモスクワに戻るソ連大使に、ブレジネフへの口頭メッセージを託した。そのなかで米中間の新たな外交関係がソ連に向けられたものでないことをくり返し保証している。【第9巻211頁】

MEMORANDUM

NATIONAL SECURITY COUNCIL

(outside the system)

~~TOP SECRET/SENSITIVE/EYES ONLY~~

ACTION

September 4, 1979

MEMORANDUM FOR:

ZBIGNIEW BRZEZINSKI

FROM:

DAVID AARON

MICHEL OKSENBERG *MO*

SUBJECT:

Implications of Security Issues  
 Raised During the Vice President's  
 Trip to China (C)

The Vice President's trip was much more significant than we had anticipated. Not only have we committed ourselves to securing a major economic package from Congress and the bureaucracy in the months ahead -- trade agreement, OPIC, ExIm budgeting adequate for China in FY 1981 and beyond, licensing -- more importantly we have moved significantly into the beginnings of a genuine security relationship with China. (C)

To an extent, our public rhetoric has kept pace with the change. We attracted the attention we sought with the sentence: "Any nation which seeks to keep you weak or isolated in world affairs assumes a stance counter to our interests." In press briefings we carefully qualified our old, flat assertion that our policy toward China and the Soviet Union is one of balance by adding that while we seek to improve relations with both simultaneously, since our relations with each and our interests with respect to each differ, the ways in which we can improve relations with

インテリジェンス情報まで求める中国

中国側はソ連からの脅威を念頭に、モンゴルや中ソ国境の地図やソ連の兵力配備についての情報共有(intelligence sharing)まで米国に求めている。

【第10巻999頁】

in the President's  
 Zemin and your May 30-  
 to move into new  
 v. 30 for the F-15 or

~~TOP SECRET/SENSITIVE/EYES ONLY~~

SECRET

MEMORANDUM OF TELEPHONE  
PARTICIPANTS:

An  
Zb

DATE AND TIME:  
Tu  
2:15

Brzezinski: I stepped  
you would be leaving in

Dobrynin: Right. I am  
message from President t  
send it to you.

Text of message: I rece  
which you informed of the  
matic relations between t  
People's Republic of Chin

In this connection, I wan

**ソ連の懸念軽減をはかるカーター**

カーターはさらにモスクワに戻るソ連大使  
に、ブレジネフへの口頭メッセージを託し  
た。そのなかで米中間の新たな外交関係が  
ソ連に向けられたものでないことをくり返し  
保証している。

【第9巻211頁】

THE WHITE HOUSE  
WASHINGTON

To C. Herald, Zbig  
Acting on my inst  
V.P. suggested to the  
Herald might visit the  
this fall. Deng accepted  
and Fritz accepted  
invitation. I see no  
to reverse this agreement.

My suggestion  
not suitable

武器供与

時からの米国の大原則は、「中国への武器売  
い」という立場だった。しかし、鄧小平からの強い  
に崩れていく。この手書きの文書は79年9月  
から政権幹部に宛てたもので、この時点ではま  
却に否定的だった。

アメリカ合衆国対日政策文書集成  
を推薦します(路線図・順不同)

December 19, 1978

**別文書(NSA 5)**  
中華人民共和国 - 国交正常化の反応 12/16-31/78

**別文書(NSA 6)**  
中華人民共和国 - 国交正常化の反応 1/1-27/79  
中華民国 1/79-1/81

**主題別文書(NSA 7)**  
裏ルートの伝言 - 北京 1/79-7/79

**ナフィス文書(NSA 15)**  
中華人民共和国 1/79-11/80

**レジンスキー地域文書**  
中華人民共和国 - 柴沢民大使との議論 5/21/78-10/1/80  
中華人民共和国 - 正常化 12/18/78-12/31/78

**レジンスキー地域文書**  
中華人民共和国 - 正常化 1/1/79-5/29/80  
中華人民共和国 - カーター大統領・鄧小平国務院副総理会談  
12/19/78-10/3/79

会談 - 中華人民共和国 97, 3/13/79  
会談 - 中華人民共和国 103, 4/30/79  
会談 - 中華人民共和国 136, 3/27/80  
会合 - 特別調整会議 139, 2/17/79  
会合 - 特別調整会議 141, 2/19/79  
会合 - 特別調整会議 144, 2/23/79

(故人) 中嶋嶺雄 中央大学名誉教授 滝田賢治  
王教授 増田弘 吉野大學教授 佐々木卓也

アメリカ合衆国対日政策文書集成  
を推薦します(路線図・順不同)

元国際教養大学理事長・学長（故人） 中嶋嶺雄  
元工学部任教授 増田弘 中央大学名誉教授 滝田賢治  
元工学部教授 佐々木卓也

事实上の反ソ“擬似軍事同盟”へと誘導していく中国